

目次

最新情報	1
新機能	1
V1.20 の追加	1
V1.12 の追加	1
V1.10 の追加	2
メンテナンス項目	3
V1.22 の修正	3
V1.21 の修正	3
V1.20 の修正	3
V1.13 の修正	3
V1.12 の修正	3
V1.11 の修正	3
V1.10 の修正	3
V1.03 の修正	4
V1.02 の修正	4
ファームウェアバージョンの確認	5
MAIN UNIT(CD-9010CF/CD-9010)ファームウェアアップデート手順	5
PANEL UNIT(CD-9010CF/CD-9010/RC-9010/RC-9010S)ファームウェアアップデート手順	6

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。

また、CD-9010CF/CD-9010 に接続するリモコン(RC-9010/RC-9010S/RC-900)に関しましても、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。

関連する製品の最新版のファームウェア

CD-9010CF/CD-9010 MAIN UNIT	V1.22
CD-9010CF/CD-9010/RC-9010S/RC-9010D PANEL UNIT	V1.20
RC-900	V1.40

最新のファームウェアに関しては、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

新機能

V1.20 の追加

- メニュー画面の "SYSTEM" メニューに "22 LAST CUE SET" 項目の設定を追加しました。

選択肢

NORMAL (初期値) :

停止状態位置または再生待機状態位置からモニター再生を開始した位置がキューポイントとして自動登録されます。

ONLINE PLUS :

NORMAL 設定での自動登録条件に加え、オンライン再生を開始した位置でもキューポイントとして自動登録されます。

- メニュー画面の "SYSTEM" メニューの "9 FAIL SAFE" 項目に "MID LIM" 設定を追加しました。

追加選択肢

MID LIM :

LOW LIM 設定との違いは以下の 2 項目です。

オンライン再生中に無効なボタンとして **STANDBY** ボタンを追加しました。

オンライン再生中に無効なボタンの中で **PLAY MODE** ボタンを除外しました。ただしオンライン再生中に **PLAY MODE** ボタンを押した場合 **CONTINUE** モードと **SINGLE** モードの切り替えとなり **PROGRAM** モードには移行しません。

V1.12 の追加

- メニュー画面の "PLAY" メニューに "17 ONLINE PLAY FROM" 項目の設定を追加しました。

選択肢

MONITOR (初期値) :

再生待機中 / モニター再生中 / ジョグ再生中の状態から **PLAY** ボタンを押す事でオンライン再生が開始されます。

STANDBY :

再生待機中の状態のみから **PLAY** ボタンを押す事でオンライ

ン再生が開始されます。

- メニュー画面の "SYSTEM" メニューの "5 ONLINE FUNCTION" 項目に "Fader Linked" 設定を追加しました。

追加選択肢

Fader Linked :

リモートコントロールユニット(TASCAM RC-9010 / RC-9010S)のフェーダーを∞の位置から上げるとオンライン再生モードがオンになります。

V1.10 の追加

- メニュー画面の **"PLAY"** メニューに **"15 AUTO STANBY"** 項目の設定を追加しました。

選択肢

- ON** (初期値) : CD ディスクをセット後、自動的に再生待機状態 (STANDBY)になります。
- OFF** : CD ディスクをセット後、停止状態 (STOP)になります。

- メニュー画面の **"REMOTE"** メニューに **"9 FADER DELAY"** 項目の設定を追加しました。
フェーダースタート時の再生開始のデレイを設定ができます。

選択肢

"OFF" (初期値)、**"100msec"**、**"200msec"**、**"300msec"**

- メニュー画面の **"SYSTEM"** メニューに **"21 LINE OUTPUT"** 項目の設定を追加しました。

選択肢

- LINE** (初期値) : モニター再生時の出力を LINE OUTPUT 端子から出力しません。
- MON&LINE** : モニター再生時の出力を LINE OUTPUT 端子から出力します。

- メニュー画面の **"PLAY"** メニューに **"16 TRACK SKIP ACTION"** 項目の設定を追加しました。
TRACK |◀◀ / ▶▶| ボタンや数字ボタンによるトラック選択後の動作を設定できます。

選択肢

- NORMAL** (初期値) : トラック選択後、再生待機状態 (STANDBY)になります。
- JOG** : トラック選択後、ジョグモードになります。
- STOP** : トラック選択後、停止状態 (STOP)になります。

- ユニバーサルリモートコントロールユニット『TASCAM RC-900』に対応しました。

メンテナンス項目

V1.22 の修正(CD-9010CF)

- CD なし、CF ありの状態では本体を起動後、再生デバイスを CF→CD→CF と変更した場合、CF の再生にて表示されているトラックとは別のトラックのデータが再生されてしまう事がある不具合を修正しました。
- 動作の安定度が向上しました。

V1.21 の修正(CD-9010CF/CD-9010 MAIN UNIT)

- V1.13 から V1.20 の変更において、メニュー MON MUTE ONLINE 設定が“OFF”、LINE OUTPUT 設定が“MON&LINE”の時、STOP または STANDBY 状態から早送り、早戻しをすると、LINE OUT から音声が出られなくなる不具合を修正しました。
- V1.13 から V1.20 の変更において、ONLINE 再生から STANDBY または STOP 後、END CHECK をしたときに LINE OUT から音声が出られなくなる不具合を修正しました。
- CF モードで CF カードを抜き CF モードのまま CD を挿入、その後 CD モードに切り替えると CD の再生が出来ない事や、EJECT ボタンを押してから CD が排出されるまでに時間がかかってしまう場合がある不具合を修正しました。
- CD-9010 においてモノラル出力が正しく動作しない不具合を修正しました。(*CD-9010CF では V1.21 以前のバージョンでもモノラル出力は正しく動作します。)

V1.20 の修正

- CF カード再生終了時に次のファイルの先頭部分が一瞬再生されてしまう不具合を修正しました。
- オンライン再生中に **PLAY** ボタンを押すとノイズが発生する不具合を修正しました。
- A-B リpeat再生中はオートキュー動作をしないように修正しました。
- 動作の安定度が向上しました。

V1.13 の修正

- メニュー画面の“**INFORMATION**”メニューの“**2 SYSTEM INFORMATION**”項目の Main(CD-9010CF/CD-9010)、RC(RC-9010/RC-9010S)の稼働時間の最大時間表示を 9,999 時間から 99,999 時間に変更しました。
- 動作の安定度が向上しました。

V1.12 の修正

- メニュー画面の“**SYSTEM**”メニューの“**13 LCD CONTRAST**”項目の初期値を“32”から“25”に変更しました。
- 動作の安定度が向上しました。

V1.11 の修正

- A-B リpeat再生時のリpeat再生区間始点(A)の設定位置を、ラストキューポイント(最後にモニター再生を開始した位置)として登録するようになりました。
- A-B リpeat再生時に **END CHECK** 機能によるトラックの終わりの部分の確認を行う場合、B 点を終点とした終わりの部分の確認ができるようになりました。

V1.10 の修正

- メニュー画面の“**SYSTEM**”メニューの“**9 FAIL SAFE**”項目が“OFF”に設定されている時、オンライン再生中に数字ボタン(0~9 ボタン)、TRACK I◀◀ / ▶▶ボタンが有効になるように修正しました。
- 動作の安定度が向上しました。

V1.03 の修正

- 特定の CD でトラックサーチ後に再生開始できないことがある不具合を修正しました。
- “**CUE**” リスト画面でキューポイント時間が 1 フレームずれて表示されることがある不具合を修正しました。
- データ CD を読み込み中に **SERCH** ボタンを押すと、ディスプレイのトラック番号表示が 3 桁(データ CD: CF モード)ではなく 2 桁(オーディオ CD モード)で表示されることがある不具合を修正しました。
- プリエンファシスががかかっているオーディオ CD の再生時に、正しくディエンファシスがかけられない不具合を修正しました。
- データ CD または CF カードを読み込み中に、**RC-9010/RC-9010S** の数字ボタンでトラックを選択しても正しく動作しないことがある不具合を修正しました。
- 特定のパソコン用 USB キーボードで動作しない不具合を修正しました。
- CF カードのフォルダー名、ファイル名の編集時に大文字から小文字、小文字から大文字に変更できない不具合を修正しました。
- CF デバイスが選択されている状態で CF カードが挿入されていない時に **MONITOR** ボタンを押すと、**CD/CF** ボタンで再生メディアを CD に切り換えられない不具合を修正しました。
- CF カードでプログラム登録済の複数の WAV ファイルを削除した時に、プログラムリストから消えないことがある不具合を修正しました。
- データ CD の “**MEDIA INFO**” 表示画面で使用容量、トラック数の表示が誤っている不具合を修正しました。
- CD と CF カードをまたいでプログラムを登録した場合に、プログラム再生開始位置がずれてしまうことがある不具合を修正しました。
- シングル再生モードで最終トラック再生終了後に、最終トラックの先頭に戻らず先頭トラックに戻ってしまう不具合を修正しました。
- CF カードの “**CUE**” リスト画面で 3 桁のトラック番号表示に対応しました。
- CD/CF を切り換えてメディアの入れ替えを行った場合に、キューポイントが正しくロードされない不具合を修正しました。
- トラック数が 1 曲しかないメディアで早送りのサーチをした時に曲の最後で停止しない不具合を修正しました。
- 2 枚組オーディオ CD で 2 枚目のディスクを **BROWSE** 表示させた場合に、トラック番号が正しく表示されないことがある不具合を修正しました。
- WAV ファイルでオートキュー機能が正しく動作しないことがある不具合を修正しました。
- キューポイントの名前の編集が正しく行えないことがある不具合を修正しました。
- CD のキューポイントをメモリーする際に、30 枚目以降のディスクのキューポイントが正しくメモリーされない不具合を修正しました。
- ディスクトレイが開いている時に、数字ボタンや **TRACK** **◀◀ / ▶▶** ボタンの操作を受け付けるように修正しました。
- プログラム設定時に “**PROGRAM**” 画面の “**ADD PROGRAM**” 項目にて、WAV ファイルをプログラム追加した場合に “**PROGARM EDIT**” 画面上のファイル情報(サンプリング周波数、STEREO/MONO)が誤って表示される不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.02 の修正

- **OPEN/CLOSE** ボタンを押すと、その後、本体の操作がきかなくなる可能性がある不具合を修正しました。
- CF カード再生時、トラックの先頭部分でノイズが発生することがある不具合を修正しました。
- “**BROWSE**” 画面から該当のトラックを再生した時に、本体のパラレル出力端子(STOP TALLY)が一瞬出力される不具合を修正しました。
- メディア読み込み中に **TRACK** **◀◀ / ▶▶** ボタン または **SEARCH** ボタンを押し続けていると、その後、本体の操作がきかなくなる可能性がある不具合を修正しました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちの **CD-9010CF** / **CD-9010** / **RC-9010** / **RC-9010S** のファームウェアバージョンを確認します。

1. CD-9010CF / CD-9010 本体の電源を入れてください。
2. CD-9010CF / CD-9010 本体のフロントパネルの **MENU** ボタンを押して、“**MENU**” 画面を表示します。
3. **DATA** ダイアルを回して “**6.INFORMATION**” 項目を選択 (反転表示) し、**DATA** ダイアルを押します。
4. **DATA** ダイアルを回して “**2.SYSTEM INFO**” 項目を選択 (反転表示) し、**DATA** ダイアルを押します。

5. 以下のような画面が表示されます。

```
MENU
-- SYSTEM INFORMATION --
Main Unit : Ver 1.01 Build 0039 PLD v09
Panel Unit: Ver 1.01 Build 0045 PLD v01
Drive Unit: Ver W.0E
RC Unit   : Ver 1.01 Build 0045 PLD v01
Work Time : Main 55h Drv 55h RC 196h
```

[01]

ここで表示される“**Ver.**”(ファームウェアバージョン)、“**Build**”(ビルド番号)を確認してください。

“**Main Unit**” : MANI UNIT ファームウェア
(CD-9010CF / CD-9010)

“**Panel Unit**” : PANEL UNIT ファームウェア
(CD-9010CF / CD-9010)

“**RC Unit**” : PANEL UNIT ファームウェア
(RC-9010 / RC-9010S)

ここに表示されるバージョンが、これからアップデートしようとしているファームウェアバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

MAIN UNIT(CD-9010CF/CD-9010)ファームウェアアップデート手順

1. TASCAM のウェブサイト(<http://tascam.jp/>)より最新のファームウェアをダウンロードし、圧縮ファイルを解凍します。
2. パソコンを使ってアップデートファイルを CD-R ディスクのルートフォルダに書き込みます。

注意

- ファームウェアアップデート用ディスクに、CD-RW ディスクは使用できません。
 - アップデートファイル以外のファイルは、書き込まないでください。
 - 複数のアップデートファイルを書き込まないでください。ただし、「RC-9010/CD-9010 Panel」のファームウェアのアップデートファイルとの混在は可能です。
3. CD-9010 本体の **STOP** ボタンと **MONITOR** ボタンを同時に押しながら、本体の電源を入れます。
 4. アップデートモードで起動すると、下記の画面が表示されます。

```
CD-9010CF UPDATE MENU
System update
Drive update
```

[02]

DATA ダイアルを回して“**system update**”を選択し(初期画面で“**system update**”が選択されています)、**DATA** ダイアル を押します。

注意

上記の画面が表示されない時は、一旦電源を切り **STOP** ボタンと **MONITOR** ボタンを同時に押しながら再度電源を入れてください。

STOP ボタンと **MONITOR** ボタンは、上記の画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。

5. CDドライブのトレーがオープンし画面に以下のように表示されます。準備した CD-R ディスクをトレーにセットし、CD-9010CF / CD-9010 本体の **OPEN/CLOSE** ボタンを押して、ディスクローディング → リーディング完了を待ちます。

```
System update mode.
Insert CD,
including update file.
```

[03]

6. ディスクローディングが完了すると、以下の画面が表示されます。

```
System update mode.
Insert CD,
including update file.

Ver. 1.00 to 1.01
Bld. 0031 to 0039
Press ENTER to execute update.
```

[04]

左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョンナンバーが表示されます。

DATA ダイアルを押すと、アップデートを開始します。

メモ

画面は一例で、実際の表示とは異なります。

7. アップデートが終了すると自動的に CD ドライブのトレーがオープンし、画面下に“**update OK. Turn system power off...**”と表示されます。ディスクを取り外し、再度電源を入れてください。
8. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して ファームウェアバージョンが最新のファームウェアとなっていることを確認してください。以上でアップデート作業は終了です。

PANEL UNIT(CD-9010CF/CD-9010/RC-9010/RC-9010S) ファームウェアアップデート手順

1. TASCAM のウェブサイト(<http://tascam.jp/>)より最新のファームウェアをダウンロードし、圧縮ファイルを解凍します。
2. パソコンを使ってアップデートファイルを CD-R ディスクのルートフォルダに書き込みます。

注意

- ファームウェアアップデート用ディスクに、CD-RW ディスクは使用できません。
 - アップデートファイル以外のファイルは、書き込まないでください。
 - 複数のアップデートファイルを書き込まないでください。ただし、「CD-9010CF/CD-9010 Main」のファームウェアのアップデートファイルとの混在は可能です。
3. CD-9010 Panel のファームウェアアップデートを行う場合は、CD-9010 本体の STANDBY ボタンと PLAY ボタンを同時に押しながら、本体の電源を入れます。
RC-9010 のファームウェアアップデートを行う場合は、RC-9010 の STANDBY ボタンと PLAY ボタンを同時に押しながら、本体の電源を入れます。
 4. アップデートモードで起動すると、下記の画面が表示されます。システムが起動するまでそのままお待ちください。



注意

- 上記の画面が表示されない時は一旦電源を切り、**STANDBY** ボタンと **PLAY** ボタンを同時に押しながら再度電源を入れてください。**STANBY** ボタンと **PLAY** ボタンは、上記の画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。
5. システムが起動すると自動的に CDドライブのトレイがオープンし画面に以下のように表示されます。
手順 1. で準備した CD-R ディスクをディスクトレイにセットし CD-9010 本体の OPEN/CLOSE ボタンを押して、ディスクローディング→リーディング完了を待ちます。



6. ディスクローディングが完了すると、以下の画面が表示されます。



左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョンナンバーが表示されます。**DATA** ダイアルを押すと、アップデートを開始します。

メモ

画面は一例で、実際の表示とは異なります。

7. アップデートが終了すると自動的に CDドライブのトレイがオープンし、画面下に**“Complete”**、**“PLS PWR OFF”**と表示されます。ディスクを取り外し、再度電源を入れてください。
8. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照してファームウェアバージョンが最新のファームウェアとなっていることを確認してください。以上でアップデート作業は終了です。

メモ

RC-9010 をお持ちの方は、RC-9010 および CD-9010 Panel 双方のファームウェアアップデートを行う必要があります。